WACCA

MONTHLY REPORT

2022.12 VOL13

12月3日 あそび基地

神戸西ワイズメンズクラブさんのご協力を得て、
ちょっと早めのクリスマス会を開催しました。

子どもたちは、
初めて見た楽器(スチールパンなど)に
興味津々で、触って遊んだり。

まずは"てっちゃんズ"
の演奏で、クリスマス
ソングを歌いました。

キャンドルサービス
もありました。

そして…

サンタ登場！

プレゼントは、お菓子を詰め合わせた
ブーツや、文房具など。

サンタと
雪だるまの
菓子パンも
プレゼントに
入ってました。

みんな、良い子にしてたかなぁ～？

認定NPO法人女性と子ども支援センター
ウィメンズネット・こうべ

WACCA 小さな読書会

『ここが わたしの ねるところ
－せかいの おやすみなさい－』
文：レベッカ・ボンド
作画：サリー・メイバー
訳：まつむら ゆりこ
出版社：福音館書店

刺繍を手掛けたサリー・メイバーさんによると、ご自身の作品を「奥行きの浅い舞台装置」として考えているため、それぞれの場面を仕上げるのに1～2か月かかり、一冊をつくりあげるのに2年を費やしたということです。

子どもの顔は木のビーズ、指は針金に糸を巻き付けて作られています。

＜内容＞
世界各地の子どもたちのベッドタイムを、美しい刺繍工芸でつづっています。
すべてのページが繊細な刺繍工芸で彩られていて、ページを開くたびに目を奪われます。
暑い国では、ハンモックをぶら下げたり屋上に敷物を敷いたりして、寒い国では暖炉の傍にベッドが置いてあったり…。
子ども向けの子守歌のような言葉とともに、その地域の気候や生活様式に関する一文が書かれているため、子どもへの読み聞かせとしても良いし、世界地図を広げて、世界のどこかにいる子どもたちに思いを馳せながら読むにもピッタリです。

＜感想＞
この絵本には、日本のベッドタイムもありますが、畳の質感を出すために色褪せたリネンを使っているそうで、そのページだけで何時間も見続けられます。
もちろん、他のページもすべてが細かくて綺麗です。
子どもたちの表情も穏やかで、「ほっこりうとうと」というキャッチコピーにも納得です。
ただ、現実世界には、安心や安全に囲まれて眠れない子どもや、寝具すらないまま、横になることすらできない子どもがいることを考えると、胸が痛みます。
脅威にさらされることのない住居で、お腹がしっかり満たされる食事を家族そろって食べて、お気に入りの寝具の中で両手両足を伸ばして眠るときに、子どもは笑顔で「おやすみなさい」を言えるのでしょう。
一人でも多くの子ども達が笑顔で眠りにつけるよう、ただただ祈るばかりです。

旧年中は大変お世話になり、誠に有難うございました。
本年も応援いただけますよう
何卒よろしくお願い申し上げます。

ご連絡先：WACCA（わっか）
MAIL: wacca@mbr.nifty.com
HP: https://wacca27.wixsite.com/wacca